

# ポイ捨てはやめよう

当然のことなのですが、守らない人がいるから、この条例で定めてしまいました。

ところかまわず空き缶やたばこの吸い殻、ガムのかみかすなどを捨てる人がいるんですよね。困ったもんです。だれも見えていないから大丈夫、ということはないですよ。だれも見えていなくても、捨てた分だけは確実に汚れてしまうんですから。捨てないでください。

また、自動販売機で缶ジュースなどを売っているお店でも、ちゃんと責任をとってもらわないと。ということで、空き缶などを回収する容器（ごみ箱）を設置してもらうことにしました。



毎年、いろいろな形で、しかも市全域でクリーンアップが行われています。しかし、毎年行われているのにごみが減るのではなく、逆に増えているようです。これはどうしたことなんでしょうか。

ボランティア、学校単位、地域単位など、いろいろな形でクリーンアップが浸透し、市民のほとんどの人が参加しているのですが、浸透しているはずなのですが、こういう状態です。参加したことのある人は決してポイ捨てなんかしないはず。ほんの一部の心ない人が捨てているとしか考えられません。

クリーンアップはやりたくてやっているのではないはず。ほんの一部の人が、捨てるのをやめてくれたらクリーンアップなんか必要なくなるのに。

捨てることを考えたのなら、捨てることはできないと思うのですが、皆さんはどう思われるでしょうか。

これもまた当然のことなんです。守らない人が多いいんです。大館市は、ハチ公のふるさとであることから「犬都」として大館を売り込んでいますが、飼い主のモラルの低さには目を覆うばかりです。また、犬に限らずほかのペットの飼育のモラルに関する苦情もけっこうあるのが実状です。

## 飼い主が責任を持って

大館は「犬都」に恥じることなく犬が多く飼われている土地です。それなら飼う人のマナーも良ければいいのですが、残念ながら必ずしもそうではありません。

公園や道路脇、それに最近では樹海ドーム周辺が、春先の雪どけのころになると、どれだけふんで汚れているか、皆さんも記憶にありますか。



野良犬、野良猫は心ない飼い主が捨てるから生まれるんです。そして、危害を与えたり、迷惑をかけたりのようになります。

ふんの後始末はもちろんのことですが、他人に危害を与えないようにするとか、飼育を止めるときや死亡したときなどには、適切に措置してくださいね。



最近、犬の散歩の際に移植べらとビニール袋を持っていく人をよく見かけます。大変いいことだと思います。でも、偏見かもしれません。後始末したあとのビニール袋を持ち歩いている人を見かけたことがあります。しっかりとやっている人には本当に失礼な話なのですが、散歩するときの単なるアクセサリーになってはいませんか。